



# やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/高桑 耐 幹事/大木健市 会報委員長/池田 弘

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

## クラブテーマ: ENJOY ROTARY 絆、みんな仲良く、クラブの未来へ

本年度第5回 通算1259回 平成24年7月31日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/17 修正出席率
		57名	36名	69.2%	96%

ゲスト: 市内6高校の高校生31名 教師6名 ビジター:(なし)

### ★会長あいさつ

高桑 耐会長

こんにちは。皆さんご存知のように、ロンドンオリンピックが27日から始まりました。オリンピックの舞台で実力を出し切るのは非常に難しいと思います。スポーツの世界では、なかなか期待通りには行きません。テレビで応援しながら、残念だと思ったり、意外な良い結果が生まれたりしています。まだまだオリンピックは続きます。日本人の選手の活躍を期待し、良い結果が出ることを祈っています。



この一週間は、私と一部の会員にとって、楽しい一週間でした。まず、先週の例会は浜名湖で納涼例会がありました。今日配布された会報を見て頂くとわかるように、皆さん楽しそうな写真が載っています。特に滝下さんの奥さん、樺山さんの奥さんには、フラダンスの衣装まで着替えて頂き、盛り上げて頂きましてありがとうございました。納涼例会を企画してくれた土井委員長、親睦委員の皆さんありがとうございました。

そして、金曜日には社会奉仕委員会事業として、光輝寮の子どもたちをナゴヤドームのプロ野球観戦に招待する事業を行いました。試合前の練習をグラウンドまで下りて見れたこと、練習を終えた選手やドアラと一緒に写真を撮ったりして、光輝寮の子どもたちが感激してくれました。大変に良い事業が出来たと

思います。原田クラブ奉仕委員長、堀田社会奉仕委員長、ありがとうございました。

### ★幹事報告

大木健市幹事

例会臨時変更のお知らせ

### ★新世代奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

藤原規彰委員長

こんにちは。本日は新世代奉仕委員会の担当例会を開催させて頂きます。今日は各学校の先生方、そして生徒の皆さん、夏休み中にも関わらず、また学校行事で何かとお忙しい中、例会とボラン・コラボ穂の国7交流会にご出席を頂き誠にありがとうございます。



昨年の3月11日に東日本大震災が発生しまして1年4か月が経ちました。改めてボランティア活動の重要性、大切さが見直されています。そして、人と人とのつながり、絆が、いかに大切であるかということも言われています。皆様方におかれましては、ボランティア活動に継続的に取り組んでこられ、当クラブからも感謝を申し上げます。

本日の予定は、例会では各学校のボランティア活動の計画や報告の発表を頂き、例会後の交流会では「みんなで何かをやる」としたら、

どんなことが出来るのか？どんなことがやりたいか？」というテーマで意見交換をして頂く予定になっています。本日はよろしくお願ひします。

それでは、各学校の発表をして頂きます。ご清聴よろしくお願ひします。

## 高校生ボランティア活動の報告

### ◎宝陵高校



私は、キャンパスというボランティア団体に看護学生として参加を申し込みました。しかし、看護

の知識も高校生であることから良い返事ももらうことが出来ませんでした。良く考えてみると、私のような未熟者が本当に困っている人たちの前に行って、何が出来るのだろうか、その人たちを本当に助けることが出来るのだろうか、私は悩みました。そんな私に、ボランティア団体に看護師として所属している方から、「今、被災地は施設で生活している人たちのケアが中心だよ。その人を助けることを出来なくても、一緒に隣にいて、話を聞いてあげるだけでも、その心を軽くしてあげることが出来るかもしれないから、あなたが今ここで諦めたら、それも出来なくなってしまう。自信を持ってもう一度チャレンジしてみたら」と言われました。この言葉に私は突き動かされ、この夏、もう一回チャレンジしてみることにしました。そして、3日間だけという条件で、ボランティアに参加を認めてもらうことになりました。まだ不安なことばかりです。私は、人としても、看護学生としても、未熟で石巻市で自ら進んでボランティアをしていた子のように強くなれた訳ではありません。しかし私は、両親や祖母、協力して下さるボランティア団体の方々、私を励ましてくれた看護師さん、相談にのってくれた友達や学校の先生方、たくさんの人のお力添えで行けることになった3日間に、全力でボランティアに挑もうと思います。そして、出来ることならば、一つでも多くの人の助けになることを

したいです。

7月25日から28日に、宮城県にある牡鹿半島にボランティアに行ってきました。私は、ボランティア活動や住民の方々とのふれあいの中で、自分の無力さを痛感しました。何を話したら良いか分からず、会話すら上手くいきませんでした。ついには会話をするのを避けるようになりました。そして、誰かのために何かをするということの難しさを思い知りました。そんな時、ある訪問先で家族を失ったおじいさんに出会いました。おじいさんは、会話の下手な私に色々な話をしてくれました。娘さんの事、奥さんの事、愛犬の事、そして津波の体験の事、私は胸が張り裂けそうになりました。辛かった事や苦しかった事、悲しかった事など一生懸命に話してくれました。しかし、私は、ただ黙ってうなずき、涙を流すことしか出来ませんでした。情けなくて、たまりませんでした。慰めの言葉も、同情の言葉も、おじいさんの心を救ってあげられる言葉も掛けることが出来ませんでした。落ち込んでいた私に、「あなたが此処に来て、話したことや経験は、きっとこれからの将来や看護師になっても大事なものになるから、若いうちは沢山の事を経験しなさい」と言ってくれました。たくさんのボランティア活動をしている人に出会えて、様々な話を聞かせてもらって、経験をして、学んで、それは全て皆さんのお蔭で私が手に入れた掛替えのないものになりました。

宝陵高校には、現在、衛生看護科と福祉科があります。普通科と異なり、主に専門的な領域を勉強しています。募金や清掃などの一般的なボランティアにも参加しますが、やはり専門性を生かした分野が多いです。まだまだ経験が浅く未熟ではありますが、医療や生活支援の知識が役立つボランティアに多く取り組んでいます。

平成24年度の主なボランティア活動は、あしなが育英募金、豊川リレーマラソン、特別養護老人ホーム喜寿苑、豊川市ゆうあいの里、社会福祉法人ケアハウス美園、特別養護老人ホーム千両荘、特別養護老人ホーム穂の国荘、新栄ケアセンターそよかぜ、特別養護老人ホーム秋桜の里、新城市レインボーハウス、ケアリゾートオリーブなどで夏祭りのお手伝い、豊川市平和祈念式典やB1グルメイベントなど、夏休みに多く生徒が参加を予定しています。また、秋には各施設の文化祭や秋祭りの

参加も予定しています。年間を通して介護施設でのお手伝い、冬には学童保育支援などが計画されています。

私たちの学校は、部活動での活動実践ではなく、全校生徒を対象に参加者を募っています。どんな小さな施設へも直ぐに出向いていけるように準備を行うとともに、万一のため全校生徒がボランティア保険に加入しています。私たちは、授業の一環として、学校で学んだ知識をもとに日々実践しています。もちろん、まだ資格がないのでボランティアでは食事の介助やお手伝いをしています。将来は、医療や介護の仕事に就きたい生徒ばかりです。そのため、ボランティアとはいえ、実習さながらの熱が入ってしまいます。

ボランティアをしていて、いつも気を付けていることが2つあります。1つ目は、いつでも相手の方の立場に立って考えることです。相手の方が何を必要としているのか、常に気を配るようにしています。2つ目は、医療や介護の現場は、体が不自由になり落ち込んでいる方も多いため、明るい雰囲気であることを心がけています。私たちの笑顔が少しでも皆さんの癒しになることを願いながら活動をしています。

以上のように宝陵高校のボランティア活動は、日ごろから培われたホスピタリーマインドが十二分に活かされています。また、今日の交流会では、多くの交流を通して感じたことや考えたことを分かち合い、感性を磨く良い機会と考えこれからのボランティア活動に繋げていきたいです。今後も私たちの存在が少しでも誰かの助けになるのなら喜んで駆けつけていきたいと思っています。以上が、平成24年度の活動計画予定です。ご清聴ありがとうございました。

## ◎御津高校



御津高校ボランティア部の発表をします。まず、円座についてです。以前から作っていた円座を完成させ、その円座に1枚1枚メッセージカー

ドを作り、宮城県七ヶ浜町ボランティアきずな館の仮設住宅にお住まいの方に送りました。東日本大震災で困っている方に使って頂きたいと考えたところ、先生が届け先に連絡を取って下さいました。体に優しい介護用品として大切に活用して頂けると良いです。

保育ボランティアについて紹介します。今年から保育ボランティアを始めました。園児たちと一緒にボール遊びや鬼ごっこをして遊んだりしています。初めはなかなか積極的に近づけず、戸惑いながら接していました。ですが、何回か訪問するうちに慣れてきて子ども達と楽しく遊べるようになりました。これからも続けていく活動なので、もっと親しくなれるようにしていきたいです。

今後の活動予定は、夏休みに、くすのき授産所に行って作業補助をします。精一杯頑張りたいと思います。文化祭では、くすのき授産所で作っているお菓子の販売を昨年を引き続き校内で行い、少しでも役立ちたいと思っています。その他、私たちの活動を写真と共にパネル展示し、他の生徒の皆さんに紹介をする予定です。ご清聴ありがとうございました。

## ◎小坂井高校



小坂井高校で行っているボランティアについて説明をします。毎年行っているボランティアには、

主に3つあります。障害者の方々と動物園でゲームコーナーなど一緒に回ったりする善意フェスティバル、困っている人や災害支援のために使われる赤い羽根共同募金、自分たちの学校の周りの清掃活動をするクリーン大作戦というものがあります。

善意フェスティバルに参加したときの様子を報告します。今年は、5月27日に生徒会、写真部、サッカー部と有志のメンバーで参加しました。僕たちは、三菱レーヨンさんと豊橋鉄道さんの紙飛行機コーナーのお手伝いをさせて頂きました。紙飛行機の折り方を教えて、的に向って投げてもらいます。紙飛行機なん



て面白いかな？と最初は疑問に思いましたが、お客さんが居ない時に自分たちもやらせてもらい、的に入れるために工夫していくうちに面白くなってきました。そして、その工夫をお客さんたちにも教えてあげました。その結果、たくさんの人たちと楽しく触れ合うことが出来ました。

赤い羽根共同募金について説明をします。昨年は生徒の協力により2日間で55,000円ほど集めることが出来ました。今年も赤い羽根共同募金を行いたいと思っています。校内放送で生徒に呼びかけを行ったり、朝、学校の門で募金活動を行ったり、各クラスで募金活動を行ったりしていきたいと思っています。もしかすると、募金することをためらう生徒もいるかもしれませんが、呼びかけにより、そのような意識を変え、より多くの生徒に募金に参加してもらって昨年よりも集まるようにしたいと思っています。そして、集まったお金は、赤い羽根共同募金会を通じて、多くの人々や社会のために役立ててもらいたいと思っています。

クリーン大作戦について説明します。小坂井高校では、クリーン大作戦というボランティア活動があります。12月の期末テストの最終日に生徒会活動の一環として校内や通学路、学校周辺の清掃活動をするを指します。活動の場所は、地域道路を清掃した方が良くと考え、校内での清掃をやめ、堤防の清掃を増やしました。毎年、大勢の生徒と教員が参加をし、1時間の清掃時間で多くのゴミや危険物を集めることが出来ました。クリーン大作戦を行うことで、小坂井高校が地域に少しでも貢献できたら良いなと思っています。しかし、夏休みのボランティア体験活動などの個人参加でのボランティア活動の募集に関しては、なかなか参加者が集まりませんでした。関心はあるのですが、ボランティア活動の内容が良くわからない、部活の時間を含めた時間的な都合がつかなかったなどのことが理由としてあげられます。一人でも多くの生徒がボランティア活動に係われるように募集や広報活動を続けていきたいと思っています。

以上のように、これからも沢山の人の助けになるように工夫を重ねながら頑張っていきたいと思っています。これで活動報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## ◎国府高校



国府高校は、生徒会がメインとなってボランティア活動を行っています。国府高校は、先に発表を

された宝陵高校さん、御津高校さん、小坂井高校さんのように、いろんな場所に行ってもボランティアとかはできませんが、身近なところでボランティアを頑張っています。

1学期に、ふれあいの里ゆうあいセンターに生徒40名程で活動に行きました。主な活動は、草取りをしました。昨年まで現地に行くバスが国府駅からあったのですが、今年から廃止になってしまい、どのように行こうかということで考えましたが、自転車で出かけ、例年通りボランティア作業をさせて頂きました。ボランティアには、写真部、陸上部はじめ部活単位で参加してもらいました。来年以降は、もっと多くの人に参加してもらえるようにポスター等の掲示をしたり、宣伝をもっと行い、より多くの生徒に参加してほしいと思っています。

今後の活動予定は、2学期の期末試験が終わった日に学校周辺美化作業があります。その時には、今回よりも多くの生徒に参加してもらえるように、後期の生徒会メンバーを中心に呼びかけをして、多くの生徒に参加してほしいと思っています。

僕が思うボランティアとは、被災地とかに行き直接関わることも大事だと思うけど、身近な小さなことから始めていくことも大事だと思います。今年の春に、この会に参加させてもらい、その時に他の学校の生徒の方たちと身近にできるボランティアというテーマで話し合いをしました。その中で出た意見が、「地域の方に挨拶をする」でした。そのような身近なことも大事なので、国府高校では、もっと地域の方とちゃんと挨拶のできるように、小さなことから徹底していけたら良いと思っています。

僕たち生徒は、なかなか時間がありませんが、ボランティアに積極的に参加してくれる生徒も多く、生徒会では意見箱を設置してお

り、ボランティアに関する投書もいくつかありました。学校には、ボランティア部はありませんが、部活を作って、もっとボランティアに積極的に参加したいという生徒もいますので、これから検討もしていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

## ◎豊川高校



今日はお招き頂きありがとうございます。豊川高校では、現在、3年生1名、1年生6名の7名で前期

生徒会執行部として活動しています。一学期の間、さまざまな活動を行ってきました。主な活動としては、1億円募金、サマーセミナーの参加があります。

1億円募金というのは、私学の学費が払えず、学校に通いたくても通えない仲間を救うために行う募金活動のことです。私たちは、その活動を6月24日午後1時から2時半までの1時間半、豊川稲荷の出入口付近で行いました。生徒会執行部には1年生が多く、初めての募金活動ということで緊張や不安がありました。また、学園祭執行部のメンバーと豊橋中央高校の生徒会の人たちも参加してもらい、合わせて13名で募金活動を行いました。募金について呼びかけている中、募金箱にお金を入れてくれた時には、とても嬉しかったです。その結果、42,586円も集めることが出来ました。それも募金をして下さった豊川稲荷の参拝客の方々の協力と豊橋中央高校の皆さん、そして何よりも仲間がいたから出来たことだと思います。これからも、この活動を続けていこうと思いますので、ご協力よろしくをお願いします。

サマーセミナーとは、だれでも教師、どこでも教師というコンセプトのもとで行われる「みんなで生み出す21世紀型の学び」のことです。私たちは、7月14日(土)から16日(月)に東邦高校・東邦大学で行われたサマーセミナーに参加してきました。本校からは、生徒・先生・卒業生・父母の方々に14の講座に講師と受講者で参加しました。私は講座に参加し

た方ですが、楽しめるものやためになるものなどが多くあり、良かったと思います。震災の講座があり、元スイス大使館の外交官だった村田光平さんの講座に参加しました。そして、9月に行われる本校の学園祭に来て下さり、「震災・原発・エネルギー～私たちの未来に向けて」のシンポジウムに参加して下さいました。

豊川高校生徒会執行部では、これからも様々な活動を行ったり、参加していこうと思っています。

また、8月3日より、学園祭執行部が岩手県のがれき撤去ボランティアと現地の高校生との交流に参加し、現地の状況や高校生の仲間と交流をする予定になっています。

最後に、9月29日、30日に豊川高校学園祭があります。去年とはまた違った内容になっていますので、皆さんぜひ来てください。ご清聴ありがとうございました。

## ◎豊川工業高校



豊川工業高校ボランティア部の活動報告を始めます。部員構成は、1年生は男子9名女子1名、2年生

は男子6名女子4名、3年生は男子3名女子1名で活動をしています。

今日に至るまで様々な活動をしてきました。子どもものづくり教室では、月に1回、豊川少年少女発明クラブが開催している活動で、毎回、約10名の豊川工業生が参加し、32名の小学生が参加をしています。工業生は、講師の先生とともに、それぞれのテーブルにつき、小学生にもものづくりの楽しさや奥深さを伝えています。終わりの挨拶の時には、参加した小学生が「楽しかった」と言ってくれることがとても嬉しいです。

次においでん祭での活動は、集まった衣類を夏物、冬物、サイズに分けて収納する作業をしました。この活動は2日間行い、多くの生徒が参加をしました。衣類を収納していっぱいになった段ボール、合計160箱出来上がり、恵まれていない国や地域に送られました。

思っていた以上に長い時間同じ作業をしていたので、集中力が段々となくなっていき、雑になってしまうこともありました。

次にビーズコーミングで、私たちボランティア部が独自で行っている活動です。ビーズコーミングとは、海に行き、保育園に訪問する時やキャンドルナイトに使用する貝殻やガラスを拾い集める活動です。潮の満ち引きや天候によって海の状態が変わってしまい、拾いに行ける日が少ないです。拾っている時に変わった形の貝殻があったりするので楽しいです。

次に高校生防災セミナーについて報告します。「必ず出会う巨大地震とどう向き合うか」などについて講義を受けました。会場は名古屋大学で、地震のほかにもハザードマップや地域防災についても話し合いをしました。今まで知っていた知識は当然のこと、震災に関する新しい知識も学ぶことが出来たので、行ってよかったと思います。

今後行う活動予定は、メインとなるのはマリンアートキャンドルナイトですが、その他には、夏休みボランティアとして、施設訪問をします。これは、事前に指導を受けて、それぞれ希望をした施設へボランティアとして訪問します。他には、地域の小学校、児童クラブ、保育園に訪問してキャンドルナイトについて知ってもらったり、イベントに参加したりする予定です。

メインのマリンアートキャンドルナイトは、今年は「願」という文字を描きます。この文字には、願いを叶えるために努力することで成長できたり、願いを持つことで物事をより良い方向に考えることができ、毎日が楽しく有意義に過ごすことができるのではないのか、というメッセージを込めて「願」という文字にしました。昨年に続き、今年も無事に成功させることが出来るようにホルダーの改良やおおよそ必要なホルダーの数などを考え、日々の部活動に励んでいます。以上で活動報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。



## ★ボラン・コラボ穂の国7交流会

例会後に、6高校の交流会が開催されました。今回は「みんなで何かをやるとしたら、どんなことが出来るのか？どんなことがやりたいか？」というテーマで意見交換が活発に行われました。



## ★ニコニコボックス

岩瀬 保会員 納涼でベストドレッサー賞を頂き  
滝下 勲会員 納涼で豪華景品を頂き  
縦山修一会員 〃  
林 博宣会員 〃

クラブ目標：会員増強純増 2名  
クラブ目標：R財団寄付額 \$100/人  
現在の状況  
会員増強・・・・・・・・・・純増2名  
R財団寄付額・・・・・・・・・・\$88/人

会報担当者：池田 弘会員、杉浦元保会員  
このウィークリーは再生紙を使用しています。